

第2学年5組 英語科学習指導案

授業者 石毛 里美

1 単元名 Unit 4 What is important in a homestay? (New Horizon English Course 3 東京書籍)

2 目標

- (1) しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて have to、助動詞 must、動名詞の形・意味・用法を理解して使うことができる。 (知識及び技能)
- (2) 海外との生活習慣や文化の違いを知るためにホームステイでの困りごとや取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合ったりたずねたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3) 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先でとるべき行動について主体的に考え、場面や状況に合った表現を用いて話したり書いたりしようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元のタイトルは“What is important in a homestay?”で登場人物、純のホームステイ体験が題材となっている。海外との生活習慣や文化の違いを知り、取るべき行動について考えたり伝えたりして共に暮らすヒントを学ぶことをねらいとしている。また単元を貫く問い「Unit Question」や「日本の習慣やマナーを伝えよう」という Unit Activity のまともにもあるとおり、ホームステイをする上で重要で役立つ情報はどんなことを考え、生活のルールやマナー、コミュニケーションの大切さや難しさなどについて、どのようにアドバイスをすれば伝わりやすいか工夫をしながら相手に考えを伝え合うこともねらいとしている。さらにホームステイのお礼状を書くことを通して手紙文の基本的な構成を理解するとともに、思い出やお世話になった人への感謝の気持ちを整理して伝える技能を身につける。海外でのホームステイを自分ごととして考えられない生徒もいるかもしれないが、日常生活で想定されるさまざまな場面に即して、それにふさわしい表現を通して習熟させたい。

言語材料としては have to や must といった(準)助動詞と主語または目的語になる動名詞について扱う。動名詞は小学校英語でも触れる表現であり、Book 1 でも enjoy …ing や be good at…ing などの形で登場しているが、文法的に指導するのは本単元となる。

(準)助動詞は主語と動詞以下から成り立つ文の内容に対して話し手の視点から様々な意味を付け加える。これまでに学習した助動詞には can, will, may, should などがある。本単元では have to、must (しなければならない: 義務)、don't have to (しなくてもよい: 不必要)、must not (してはいけない: 禁止) を新たに学習する。また、動詞の～ing 形についてはこれまで be 動詞+～ing で現在進行形や過去進行形で学習してきたが、本単元では名詞のように主語や目的語として働く動名詞(～するこ)を紹介する。授業においては文法用語を教え込むことよりも実例によってその働きを理解させることに重点を置く。

(2) 生徒について

省略

(3) 指導について(研究主題との関連を含む)

義務を表す must と have to、禁止を表す must not と Don't、どちらも類似した表現だが場面や状況からニュアンスの違いを感じ取りながら習得させたい。ホームステイの経験がない中学生に対してはホームステイの歴史やホームステイの分類、海外の生活事情なども話題にして理解を深めていく。

〈視点1「主体的・協働的に学びたくなる探究課題の設定」について〉

本文の内容と併せて生徒の生活に関わる内容をテーマとして設定する。前時の学習の have to と比べ、must にはどのような違いがあるか場面や状況に応じてふさわしい表現を選択できるよう、対

話を中心に活動を仕組む。特に一人で解決できない問題を協力して解くことで興味関心を高め、意欲的に取り組むことや、それぞれの意見を聞くことで多様な考えが引き出されるよう支援する。

〈視点2「思考・判断・表現する場面の設定」について〉

お手本の本文から生徒が考えた場面に用いることができる表現を抜き出し、文構成の組み立て方を指導する。日常生活で「しなければならないこと」や「してはいけないこと」について考えさせ、オリジナルの場面設定の時間をつくる。自ら考え、自分の言葉で表現する機会を設定し、目指す生徒の姿に近づけていく。

4 指導と評価の計画（全6時間）

時 数	学習活動	評 価（◎記録に残す評価、○指導につなげる評価）			
		知	思	主	評価規準
1	・海外でのホームステイにおけるマナーやルールについて知る。 ・義務や不必要の助動詞を学ぶ。	○		○	・新しい文法表現を理解し、活用することができる。（知・技） ・場面や状況に応じた表現に対して意欲的に理解を深めようとしている。（主体的に学ぶ態度）
1 本 時	・本文の表現を活用して自分に関わることについて他とコミュニケーションを取りながら英語で表現する。		◎		・既習表現を用いながらオリジナルの場面を設定し、自分の言葉で表現することができる。（思・判・表）
1	・ホームステイ先での問題について理解し、動名詞と不定詞の違いを学ぶ。	○			・動名詞が持つ2つの形の用法が動詞と関連があることを理解できる。（知・技）
1	・動名詞が主語として現れる用法を学ぶ。 ・自分に関わるオリジナルの文を二種類考える。	◎	○		・目的語、主語、どちらの用法も理解することができる。（知・技） ・2つの表現を用いて自分自身について表現することができる。（思・判・表）
1	・本単元のまとめとして日本でホームステイをする留学生の相談を理解し、既習の表現を用いてアドバイスをする。			○	・義務や不必要、禁止等の表現を用いて、留学生の希望や心配事に応えようとしている。（主体的に学ぶ態度）
1	・お世話になった人への感謝を表す文章を「導入、本文、まとめ」の順に英語の構成で書く。	◎	○		・本文の学習以外にも助動詞の役立つ表現があることに気づき、活用できる。（知・技） ・気持ちを込めた感謝のお礼状を書くために表現を工夫できる。（思・判・表）

5 本時の指導

（1） 目標 マナーやルールにについて義務や不必要などの場面にあった助動詞を用いて、自分の考えを友達に伝えることができる。

（2） 指導過程

学習活動 【学習形態】 発問（○）、指示（△）	予想される生徒の反応（●）、教師の手立て（・）、 評価（◎）
1 Greetings	・We'll start cheerfully. (Include daily questions)
2 Warming-up Practicing present and past tense.	・Using a blue worksheet.
3 ①Review ○We have eight advice for homestay in the textbook. Who can tell me one of them? ②Today's Story	●Some students can answer the questions.

△Students will look at some pictures and will tell us what the situations are. ③New Words △Pronounce the words △Word Matching Game ④Reading Practice △Repeat with slash mark △Practice in groups △Translate Japanese into English ⑤	•If they can't, I'll give them some clue. •Ask students to speak louder. •Have students cooperate to make phrases. •Prepare white boards and pens. •Make students be careful about accent and intonation. •Try to encourage students when they do well.
〔Today's Goal〕 What are the rules? Tell your friends our school rules.	
○A new foreign student will come to Yamagata Second Junior High School next month. He is going to join your class. What do you say to him? △Show students our school rules on TV. ○What kind of phrases can we use when we talk about the rules? <u>△Talk in groups and give advice to a new student.</u> ○Which group can show us your advice? 4 Summary △If you need to give advice to someone, what kinds of keywords are useful? △Write the evaluation worksheet.	•Prepare worksheets about our school rules distributed in April. •Talk in pairs. ●Some students will answer. ●have to, must, don't have to, Don't, ... •Prepare papers and pens ●Some groups will show and tell. ◎Some of the groups answer the questions with their words and phrases. •Walk around the desks and check their sentences.

6 事後研究会

助言者 山形市立第二中学校 田中 千絵教頭

- 「書くことへの苦手意識」の実際の数値でも低く、指導案を変えた。どうすれば力がつくのか今日の事後研の話し合いで出ていた。
- ウオームアップの帯活動から、普段の授業の様子が見える。テンポが良い、英語の指示が短いフレーズなのでわかりやすい。生徒が動きやすい工夫がされている。グループ活動による学習の成果を生徒自身も感じている。パワーポイント、リズムボックスをうまく活用している。生徒への手立てになっている。
- 今日のターゲットフレーズに焦点が当てられていて良かった。後半でも、表現を絞ると良い。
- グループを主体にしたことにより、周りの生徒との協力があり、低位の生徒への手立てになっている。
- △一人で考えてみる時間をどう設定するか。情報の取捨選択、思考につながる活動の工夫があると良い。個で考える場面、取捨選択をする場面を与えてみると良いのでは。
- △訳す＝表現で良いのかは今後考えていかなければいけない課題である。英語にできないことも body language で表現することもある。大きな枠で挑戦することも大切。